

～ 被害者と共に考え、共に歩む～

支援センターだより

Vol.21

2007.6

NPO法人(特定非営利活動法人) 静岡犯罪被害者支援センター



東海道の宿場・由比を過ぎて駿府へとさしかかる
難所、薩埵峠はまれにみる景勝地です。
初夏にみかんの花の香りがただよい、枇杷の実の
袋かけは花が咲いたようです。

◇ 電話相談のお知らせ ◇

面接相談・法律相談(予約)

相談電話 054-209-5533

毎週 月曜から金曜 午前10時から午後4時まで

面接相談は、静岡相談室・浜松相談室・沼津相談室を
開設しています。

ご相談の受付は、相談電話で予約をしてください。

・・・もくじ・・・

平成18年度の活動報告 特集

- 1・静岡県警察本部犯罪被害者対策官 星野健児
静岡犯罪被害者支援センター専務理事 松浦照佳
- 2・支援活動のあゆみ
- 3・電話相談受理状況
- 4・支援センターの運営を支えてくださる皆さま

表紙写真 みかんの花・薩埵峠にて 撮影・Kuniya.K

新しい被害者支援のありかた

静岡県警察本部警察県民センター

犯罪被害者対策室長 星野健児



犯罪被害者対策の具体的な政策の第一歩が、昭和55年に制定された犯罪被害給付金制度でありました。その後の無差別殺傷事件などの多発から被害者の悲慘さが広く社会に認識され、平成13年には犯罪被害給付制度を大幅に改正し、支給金額の引き上げ、障害給付金支給基準等級の拡大等充実が図られました。

こうした政策の充実は更に被害者支援の必要性を加速されることとなり、平成17年には犯罪被害者等基本法が制定・施行され、国、地方公共団体の役割が定められ、さらに同年に閣議決定された犯罪被害者等基本計画に基づき、「犯罪被害者等施策推進会議」の下に関係

省庁、有識者からなる検討会が設けられ、給付金額の引き上げを含む今後の被害者支援のありかたを検討中で、本年度内の取りまとめを急いでおり、支援の充実を期待しているところであります。

このような情勢の中、実際の被害者支援に当たっておられる民間支援団体の職員・ボランティアの皆さんには大変なご苦勞をいただいております。個々のケースワークにおいては「信頼の醸成に時間を要した」「支援にあたって被害者の方を知らなすぎた」等の思いが多々あるかと思ひます。

いま、静岡犯罪被害者支援センターでは支援業務のなご一層の充実を図るため、静岡県公安委員会の「犯罪被害者等早期援助団体」の指定を受けるべく所要手続きを推進しております。早期援助団体については、平成13年に大改正された「犯罪被害者等給付金の支給等に関する法律」に新たに規定されたもので、被害者が抱えている多様なニーズに的確に応えるには、警察等公的機関の援助だけでなく、民間被害者支援団体による援助活動がきわめて重要であります。

しかし、被害直後の被害者等の多くは民間団体の信頼性の判断が困難であり、援助の求めを躊躇してしまう等により初期段階の援助を十分に受けられない状況が見られるなどから、被害者の援助を適正・的確に行うことができると認められる団体を公安委員会が「早期援助団体」として指定することにより、被害者等が安心・信頼して援助を早期に受けることを可能とするもので、今後の同センターのご活躍を期待するものであります。また、活動を支えていただいております皆様には、一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

支援活動へのご協力に感謝

静岡犯罪被害者支援センター

専務理事兼事務局長

松浦照佳



平成16年12月1日、犯罪の被害者や支援する団体等が、その成立を強く望んでいた「犯罪被害者等基本法」が成立しました。その中の基本理念として、犯罪被害者等について、「個人の尊厳が重んぜられ、その尊厳にふさわしい処遇を保障される権利を有する」とされ、また、その施策は「平穏な生活を営むことができるようになるまでの間、必要な支援等を途切れることなく受けることができるよう講ぜられる」と規定し、支援の重要性や必要性を明示したのであります。静岡犯罪被害者支援センターは、平成13年7月、民間のボランティア団体として法人認証を受け、以後、体制の整備や事業内容の拡大・強化を図りつつ、支援活動を推進して参りました。

基本法の中で示された基本理念に一步でも近づき、その目的実現のため関係する全ての人が努力しているところであります。平成18年度の事業活動の一端を申し上げます。

まず相談事業ですが、電話相談は455件を受理、面接相談は20人、法律相談は16人にそれぞれ実施しております。次に直接的支援事業ですが、裁判所等への付添い支援は3事件で11回、30人が従事しました。その他、犯罪被害者等への支援活動について理解を得るための、広報・啓発活動や、支援員の資質向上を図るための研修も実施しております。本年度は、当支援センターの課題である、公安委員会の「犯罪被害者等早期援助団体」の指定を受けるため、努力しているところであります。

こうした活動は、当支援センターの事業目的を理解され、賛同していただいた皆様方からの貴重な浄財により賄われております。支援をしていただいた方々に対し、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。今後も皆様方の変わらぬご指導、ご支援を切にお願い申し上げます。

平成18年度支援センターのあゆみ

4.21 直接支援員研修会



4.25 全国道路標識・標示業協会さまより寄付



5.3 浜松祭りの会場で署名活動



平成19年度 第1回理事会・総会

平成19年度第1回理事会・総会を平成19年5月19日に開催いたしました。
平成18年度の事業報告と19年度の事業計画を審議していただきました。

(1) 第1号議案平成18年度事業報告

(2) 第2号議案平成18年度会計収支報告

	単位・千円	平成17年度	平成18年実績	対17年比	平成19年計画
収入の部	会費収入	4,871	3,504	71.9%	4,500
	募金収入	2,306	7,355	319.0%	3,900
	委託事業	4,814	4,722	98.1%	4,680
	助成金	4,700	5,020	106.8%	4,890
	合計	16,752	20,617	123.1%	17,070
支出の部	事業費	10,701	12,375	115.6%	10,954
	管理費	7,329	7,896	17.7%	7,000
収支差額		-1,278	348		16
次期繰越差額		9,599	9,947	103.6%	9,963

(3) 第3号議案特定非営利活動法人静岡犯罪被害者支援センター定款の改正

(4) 第4号議案平成19年度事業計画

(5) 第5号議案平成19年度会計収支予算

(6) 第6号議案平成20年度事業計画

(7) 第7号議案平成20年度会計収支予算

公安委員会による「犯罪被害者等早期援助団体」の指定を受けるために、平成20年度の計画も審議し決議をいただきました。

(8) 第8号議案役員の選任について

任期2年の役員（理事・監事）の再任について議決していただきました。

(9) 新たに正会員となられた方々です。

白井博美 様（臨床心理士）

加藤好子 様（臨床心理士）

齋藤さつき様（臨床心理士）

佐々木 宏様（前・静岡県警察本部警察県民センター犯罪被害者対策室長）

池田剛志 様（静岡県弁護士会犯罪被害者対策委員会委員長・弁護士）

(10) お知らせ

前理事・望月俣先生（静岡小児科医師会）には、3月4日にご逝去されました。

当支援センターの活動にご尽力いただきましたことに感謝申し上げ、謹んでご冥福をお祈りいたします。

○なお、総会等の詳細につきましては、事務局までお問い合わせください。

5.19 テレビ 静岡の取材



6.6 17年度ボランティア研修会



6.12 新伝馬2女性強殺事件判決公判



平成18年度 支援活動のあゆみ(下期)

- 7. 3～ 平成18年度「直接的支援実地研修」都民センター
- 7. 4 第4回17年度ボランティア研修会 支援センター研修室
- 7. 11 第4回電話相談員研修会 支援センター研修室
- 7. 11～直接的支援セミナー・都民センター研修会
- 7. 15 第3回浜松自助グループ 浜松西部パレット
- 7. 18 第2回18年度ボランティア養成講座 講師 浜松学院大学 福永博文教授
- 7. 21 第4回直接的支援研修会 講師 城北公園クリニック佐野秀典院長
- 7. 22 第4回静岡自助グループ 静岡駅パルシェ会議室
- 7. 28 第14回静岡県犯罪被害者支援連絡協議会 県警察本部 会議室
- 7. 28 第3回18年度ボランティア養成講座 講師 浜松市保健福祉部 副参事 精神科医 白川美也子
- 8. 1 第5回17年度ボランティア研修会 青木聡子・緒あしず代表
- 8. 3 支援に対する特別研修会 発表者 山本あつ子、大石博美 支援センター研修室
- 8. 7 防犯ブザー「ミワモちゃん」100個購入
- 8. 9 日本財団、17年度助成事業決算報告提出
- 8. 18 第5回直接支援員研修会 名古屋大学大学院 蔭山英順教授 あざれあ
- 8. 18 日本財団、17年度助成事業報告書提出
- 8. 19 第4回浜松自助グループ 浜松西部パレット
- 8. 24 第4回18年度ボランティア養成講座 講師 白井孝一弁護士
- 8. 31 ストーカー事案被害者へ防犯グッズの供与
- 9. 2 ブラジル人犯罪者引き渡し署名活動 静岡市青葉公園
- 9. 2 強制わいせつ事件被害者へ防犯グッズの供与
- 9. 5 第5回17年度ボランティア研修会 磯田由美子臨床心理士 支援センター研修室
- 9. 8 第5回18年度ボランティア養成講座
- 9. 9 経験交流会 弁護士会館
- 9. 12 第5回電話相談員研修会 神部英子臨床心理士 支援センター研修室
- 9. 13～「沼津相談室」開設プレゼン 県東部行政機関訪問
- 9. 15 都被害者支援シンポジウム 東京富士大学
- 9. 16 「犯罪被害者の日」広報 静岡駅地下道に看板掲出 ～9/30
- 9. 19 第6回18年度ボランティア養成講座 磯田由美子臨床心理士
- 9. 22 第6回直接支援員研修会 松本泉臨床心理士 静岡駅パルシェ
- 9. 23 第5回浜松自助グループ 浜松西部パレット
- 9. 25 第5回静岡自助グループ 県社会福祉会館
- 9. 28 「沼津相談室」開設プレゼン 沼津警察署・三島署
- 9. 29 第7回18年度養成講座 浜松いのちの電話研修委員長 永澤嘉子
- 9・30 県民まちづくりカレッジに参加
- 10. 2～全国犯罪被害者支援ネットワーク秋季全国研修会に参加
- 10. 2 埼玉犯罪被害者援助センターの視察
- 10. 4 沼津面接相談室開設
- 10. 10 第7回17年度ボランティア研修会 磯田由美子臨床心理士 支援センター研修室
- 10. 10 強制わいせつ未遂事件被害者への防犯グッズ供与

6.20 静岡新聞論説委員による特別講演



6.30 平成18年度ボランティア養成講座の開講



8.23 事務局でのボランティア活動



9.2 静岡市青葉公園広場で署名活動



9.9 静岡県弁護士会との経験交流会



平成18年度 支援活動のあゆみ(下期)

- 10. 11 しずおか防犯まちづくり県民会議総会に出席
- 10. 13 第6回電話相談員研修会 神部英子臨床心理士 支援センター研修室
- 10. 17 第8回18年度ボランティア養成講座 講師 西部児童相談所 名倉恒夫専門監
- 10. 20 第7回直接支援員研修会 講師 県警外国人犯罪対策課 杉山匡課長補佐
- 10. 21 浜松自助グループの開催 浜松西部パレット
- 10. 26 水見色事件公判の傍聴席抽選の協力
- 10. 27 第9回18年度ボランティア養成講座 講師 浜松医科大学精神神経科 森則夫教授
- 10. 30 伊東警察署においてバザー売上金の寄付受領
- 11. 7 第8回17年度ボランティア研修会 磯田由美子臨床心理士 支援センター研修室
- 11. 9 18年度養成講座受講生の浜松地裁公判傍聴
- 11. 14 水見色事件公判の傍聴席抽選の協力
- 11. 14 第7回電話相談員研修会 支援センター研修室
- 11. 17 日本財団に直接支援活動を報告
- 11. 18 浜松自助グループの開催 浜松西部パレット
- 11. 21 第10回18年度ボランティア養成講座 講師 高貝亮弁護士
- 11. 24 第8回直接支援研修会 県警本部 松嶋生活安全指導官 あざれあ
- 11. 25 ラジオスポット放送開始 K-Mix 静岡エフエム放送
- 11. 27 強姦致傷未遂事件被害者に防犯グッズの供与
- 11. 27 暴力追放・銃器根絶県民大会へ広報および募金活動として参加
- 11. 28 第11回18年度ボランティア養成講座 講師 高貝亮弁護士
- 11. 28 FM放送「みしまボイスキュー」に支援センター専務理事が出演
- 11. 29 強制ワイセツ致傷事件被害者に防犯グッズ供与
- 12. 1 強制ワイセツ事件被害者に防犯グッズ供与
- 12. 1 犯罪被害者支援講演会の開催 あざれあ
- 12. 1 犯罪被害者支援の広報啓発用横断看板を静岡駅地下道に掲出
- 12. 1 第2回県民相談員及び担当職員研修会へ講師派遣
- 12. 5 第9回17年度ボランティア研修会 磯田由美子臨床心理士 支援センター研修室
- 12. 8 第12回18年度ボランティア養成講座 講師 神部英子臨床心理士
- 12. 12 第8回電話相談員研修会 神部英子臨床心理士 支援センター研修室
- 12. 16 浜松自助グループの開催 浜松西部パレット
- 12. 16 エスパルス・ドリームプラザにおいて県警音楽隊の演奏によるクリスマスコンサートを開催
- 12. 18～自助グループ継続研修会に参加 東京医科歯科大学
- 12. 19 第13回18年度ボランティア養成講座 講師 名古屋大学大学院 蔭山英順教授
- 12. 22 第9回直接支援員研修会 テレビ静岡・榛葉晴彦報道副部長 静岡駅パルシェ
- 12. 26 第14回18年度ボランティア養成講座 終了式
- 1. 9 第10回17年度ボランティア研修会 磯田由美子臨床心理士 支援センター研修室
- 1. 12 傷害致死被害者遺族の直接的支援を開始

9.16 静岡駅地下道看板で支援の日を告知 9.22 司法支援センター「法テラス」説明会



10.2 秋季全国研修会に参加



被害者の方にお役立ていただくために「Q&A集」ができました。

このパンフレットは、日本財団の助成をいただき、理不尽な事件・事故に巻き込まれ、傷つけられたり、また、大切なご家族を奪われ、耐え難い不幸に遭遇された被害者の方やそのご家族の方々に、NPO法人静岡犯罪被害者支援センターが、支援することができる内容を取りまとめたものです。

犯罪被害者や、そのご家族の方々に少しでもお役に立てれば幸いです。

ご希望の方は、事務局までお問い合わせください。

平成18年度 支援活動のあゆみ(下期)

1. 15 富士宮警察署においてバザー売上金を寄付として受領
1. 16 第9回電話相談員研修会 神部英子・磯田由美子臨床心理士 支援センター研修室
1. 18 内閣府による犯罪被害者団体からの意見聴取
1. 19 第10回直接支援員研修会・自助グループ懇談会
「被害者遺族と支援ボランティアの懇談会」 あざれあ
1. 20 犯罪被害者支援チャリティコンサートを県警音楽隊の協力で(葦山時代劇場)の開催
1. 20 浜松自助グループの開催 浜松西部パレット
1. 22 外国人犯罪被害者遺族の支援検討会
1. 22～18年ボランティア養成講座の補講開始 支援センター研修室
1. 26 サポートセンターあいちの視察・研修
1. 27 強制ワイセツ事件被害者に防犯グッズ供与
2. 2 ひったくり事件被害者に防犯グッズ供与
2. 3 静岡市・感応寺チャリティコンサートの開催
2. 5 県委託事業の18年度養成講座記録写真完成、報告
2. 6 第11回17年度ボランティア研修会 磯田由美子臨床心理士 支援センター研修室
2. 8 外国人犯罪被害者遺族への直接的支援
2. 8 全国犯罪被害者支援フォーラム2006 京都ガーデンパレス
2. 9 全国被害者支援ネットワーク春期全国研修会に参加 京都平安会館
2. 13 第10回電話相談員研修会 神部英子臨床心理士 支援センター研修室
2. 16 傷害致死被害者遺族への直接的支援
2. 17 浜松自助グループの開催 浜松西部パレット
2. 20 犯罪被害者等早期援助団体指定に関する資料提出 県警犯罪被害者対策室
2. 22 強制ワイセツ事案被害者に防犯グッズの供与
2. 23 第11回直接支援員研修会 あざれあ
2. 24 第2回理事会・臨時総会の開催 もくせい会館
2. 27 外国人犯罪被害者遺族の直接的支援(支援弁護士)
3. 2 外国人犯罪被害者遺族への直接的支援
3. 2 18年度ボランティア養成講座受講生の面接試験 支援センター研修室
3. 6 第12回17年度ボランティア研修会 磯田由美子臨床心理士 支援センター研修室
3. 8 19年度より開設の西部面接相談室担当臨床心理士との検討会 浜松西部パレット
3. 13 第11回電話相談員研修会 神部英子臨床心理士 支援センター研修室
3. 13 県保護司研修会において講師派遣 焼津・松風閣
3. 17 浜松自助グループの開催 浜松西部パレット
3. 22 外国人犯罪被害者遺族の直接的支援
3. 23 第12回直接支援員研修会 もくせい会館
3. 26 傷害致死被害者遺族の直接的支援
3. 31 全国被害者支援ネットワーク東海北陸ブロック会議 名古屋市

10.2 埼玉援助センターを視察



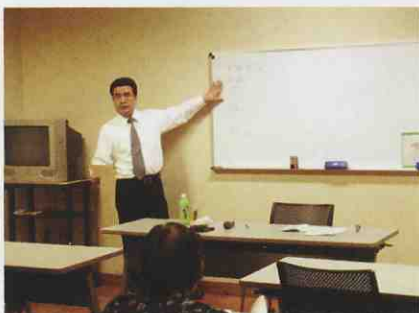
10.4 東部地域の沼津に面接相談室を開設



10.22 鉄道警察隊のご協力で駅構内の告知活動



10.27 浜松医科大学の森教授による講座



12.9 浜松しずおか防犯まちづくりカレッジ



12.27 ボランティア養成講座終了式

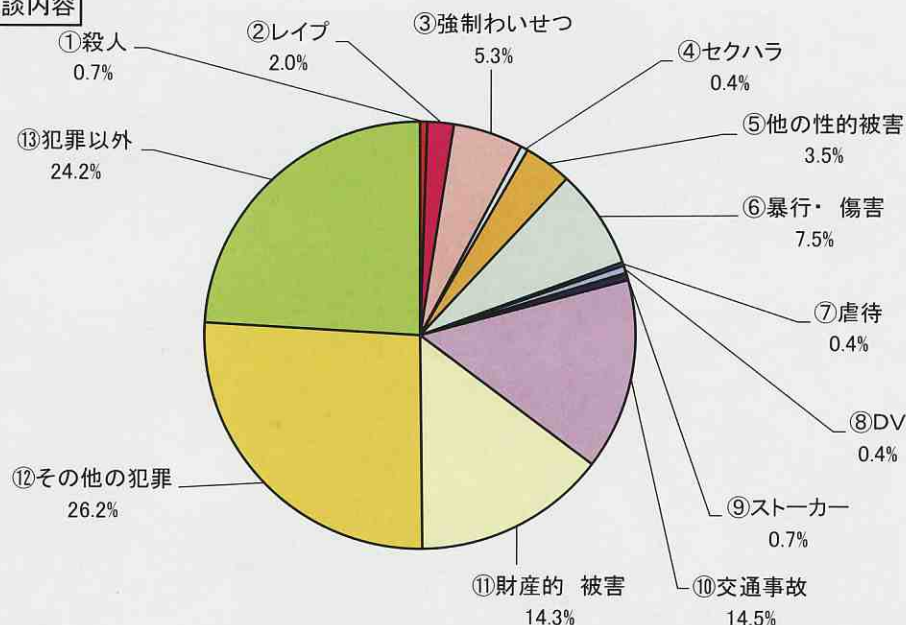


平成18年度 電話相談受理状況

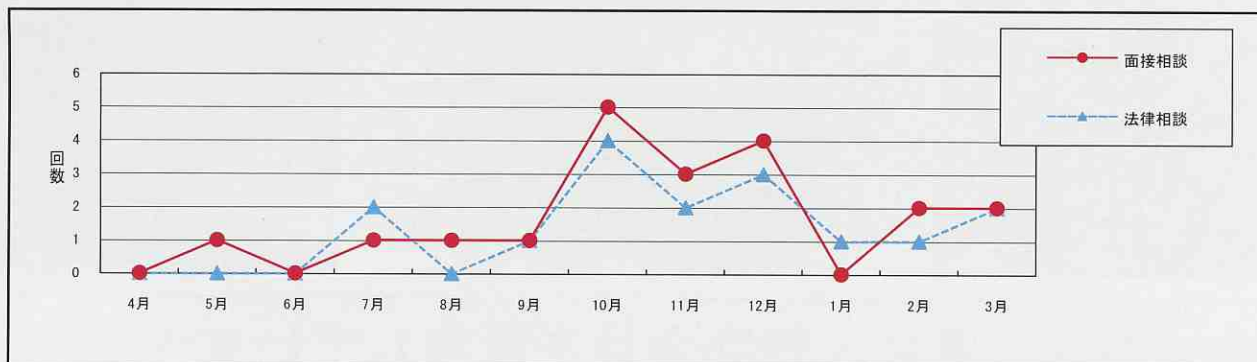
平成18年度の電話相談件数は、455件でした。



2006年電話相談内容



平成18年度の面接相談件数は、20件、法律相談は16件でした。



犯罪の被害にあわれた
あなたの相談に
応じます。

面接相談室
(予約制) (初回無料)

浜松
静岡
沼津



面接相談
予約受付先

TEL: 054-209-5533

●電話受付時間/午前10時より午後4時まで(土・日・祝祭日を除く)

FAX: 054-209-5556

●FAXでのお申込みは、相談内容及び住所、氏名、電話番号をご記入下さい。
当センターよりご連絡いたします。

支援センターの運営を支えてくださる皆さまに ころより感謝申し上げます

賛助会費・寄付・募金 平成18年11月1日～平成19年3月16日

秋山静雄
浅賀由幸
渥美俊夫
新居警察署
新居警察署管内防犯協会
石居昌巳
石川尚代
市川島田会
伊東警察署
岩崎明司
磐田警察署
大石修司
大庭茂利
大仁警察署
大仁警察署管内建設業防犯協力会
大仁警察署管内防犯協会
大仁警察署少年警察ボランティア
大仁地区安全運転管理協会
小田清久
加藤（匿名）
株式会社なすび代表取締役藤田圭亮

感応寺チャリティコンサート・募金
蒲原警察署
菊池英明
ドリームラザ・クリスマスチャリティコンサート(募金)
警察官友の会富士支部
交通安全協会大仁地区支部
交通安全協会天竜地区支部
交通安全協会中伊豆分会
小杉昌子
静岡県警察本部警務部教養課
静岡けやきライオンズクラブ
静岡県警察官友の会大仁支部
静岡県質屋組合連合会
静岡南警友会
島田市自治会連合会
島元正彦
杉本光夫
杉山 渉
鈴木勝彦
鈴木龍恵
鈴木通代

高橋よし子（菰山チャリティコンサート）
田代 稔
天竜地区安全運転管理協会
東遠遊技業組合
菰山時代劇場チャリティコンサート(募金)
沼津警察署
榛原地区安全運転管理協会
浜北警察署管内職域防犯協会
浜松中央警察署
浜松遊技業組合
犯罪被害者支援講演会
富士宮警察署（バザー収益募金）
富士宮ライオンズクラブ
松本喜代子
三島泉ライオンズクラブ
峰田 武
望月威男
森 警察署
焼津警察署
八木希美
ラ・メヌエット

アイウエオ順（敬称は略させていただきます。）

大仁警察署のご協力によって開催された菰山時代劇場でのチャリティコンサート募金



富士宮警察署から募金の寄贈



ラ・メヌエット（柴田裕之）さまからコンサート募金の寄贈



ドリームラザでのチャリティ・クリスマスコンサート



《寄付・募金・賛助会員を募集しています》

支援センターの活動は、皆さまからの寄付・募金・賛助会費によって支えられています。

平成19年度も被害者支援活動が活発に行えますよう、ご協力をお願いいたします。

個人、団体・法人を問いません。お申し込みは事務局へご連絡ください。

事務局 電話：054-209-5555
FAX：054-209-5556

ホームページアドレス

<http://www.shizuoka-hhsc.jp/>

後援

静岡県警察本部
静岡県被害者支援連絡協議会

発行 NPO法人 静岡犯罪被害者支援センター

発行責任者 専務理事兼事務局長 松浦照佳

発行日 平成19年6月

発行助成 日本財団

この広報誌は日本財団の助成金を受けて作成しました

